

科目名 (Subject)	Cultural Studies and English Education (異文化研究と英語教育)		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	Yuki Takahashi	研究室番号 (Office)	524
Office Hours	火曜 3時間目 12:50~14:20		

### 1. 授業目的・方法 (Course objective and method)

今年度のテーマは「ファンタジー小説を読む」です。

作品は Alan Garner の *The Weirdstone of Brisingamen* (『ブリジנגガメンの魔法の宝石』 (1960)) です。「ハリー・ポッター」や「ファンタスティックビースト」のシリーズよりも先だって発表され、数あるモダン・ファンタジー小説のなかでも名著に数えられている本作の精読に挑戦します。児童文学としても評価の高い作品なので、青少年以上の読者の感性や想像力を育てるのに適した小説ともいえます。毎回まとまった分量の英文を丁寧に読み込むことで、作品世界のイメージと物語内容の理解を深めますので、英文を素早く的確に読解するための実践的なトレーニングにもなります。その上で、本作のみならず多くのファンタジー小説一般にも共通してみられる創作要素として重要なケルト神話やパラレル・ワールド的な時空間の設定などについての知識も深まるよう講義を進めていきます。

### 2. 授業内容 (Course contents)

#### 第1週

作品概要の把握。登場人物、舞台設定などを確認。序章として 'Legend of Alderley' の内容確認。

第2~4週 Part I. 物語前半について。

第5~13週 Part II. 物語後半について。

第14~15週 物語創作の要素について。ケルト神話、妖精信仰、口承伝承による民話の文化的影響。

毎回の授業において

(予習事項)

毎回20ページ前後の英文を読み進めることとなります。事前によく読み内容を把握しておくのは絶対条件となります。講義では毎回の予習内容の要約発表が問われます。その上で、理解に自信がなかったり疑問に感じる部分を明らかにしていただくこと。

(復習事項)

授業を通して自分たちの理解がどう変わったか、事前の疑問点が解決したかを確認し、作品解釈における英文理解を改めて見直す (→後にレポートして出していただくこととなります)

### 3. 使用教材 (Teaching materials)

Alan Garner. *The Weirdstone of Brisingamen*. London: Harper Collins, 1960.

詳細は教室で指示します。

参考教材: アラン・ガーナー作/芦川長三郎訳『ブリジングガメンの魔法の宝石』 (評論社、1969年)

### 4. 成績評価の方法 (Grading)

授業への参加度 (毎回の作品内容の要約説明) 75%

レポート提出 (詳細は授業内で指示します) 25%

### 5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

「可」を合格ラインとします。具体的な「秀・優・良・可」の評価基準は、評価確定後、文書にて通達します。

### 6. 履修上の注意事項 (Remarks)

授業中にスマートフォンを利用するのはやめてください。辞書を持参しましょう。